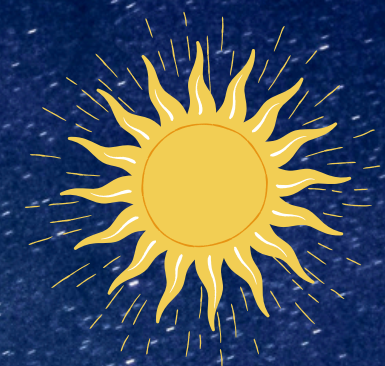




# 子育て占星術本講座



2024年10月11日



# 第11回 子育て占星術内容

★今回のテーマ★ 第11回 10月11日

- 幼少期における土台づくり
- 天才キッズを育てる方法
- 新地球に生まれれてくる子ども

# 幼少期における土台作り

- ステージ1・2・3を満たしていくこと
- 子どもの無限の可能性をひろげてあげること
- エントロピーを大きくすること
- ステージ1も2もたくさん体を動かさせること
- クリエイティブなものを司るのは人間脳（大脳新皮質）
- ステージ1と2の土台がしっかりしていると人間脳を上手く発揮させることができる
- いかにフロー状態に入らせることが鍵

# 天才キッズを育てる方法

- いわゆる天才といわれるのは自分のもともと持っている力を
- 上手く100%発揮できている人
- 子ども自身が自分の可能性を信じれていること
- 誰しもが生まれながらの天才である
- 才能開花＝花が開くと書いて開花
- とにかくフロー状態にさせてあげること
- 子供の好きを大切にすること

# 子供の天才性を発揮する方法

- 基本的には子供たちを見守る
- 自然の中に放り込んで見守る
- 「君はできるから！絶対にできるから！できないことはないから！」
- 今までできなかった事ができるようになると脳が活性化される
- フロー状態に入って来やすい

# できない子をバカにする子

- 人を馬鹿にしたり、小馬鹿にしたり、見下す子
- これは親からの刷り込み
- 親のクロスケが影響しているケースが多い
- ポジショニングが大きく絡んでいる
- 自分はできるけど下の子ができないことに対してものすごいバカにする
- 究極それをする事で・・・子供に伝えることとしては

# 神様から嫌われるよ！

- 神様から嫌われるよ
- 神様が味方してくれない
- 果ては自分が見下される
- 自分が馬鹿にされるからやめておきなさい！
- 従業員マインドと経営者マインドの話も語って聞かせると良い

# 天才キッズに共通する子育て

- 両親関係が良好
- 子ども主体で考えさせていく
- 何よりも子どもの好奇心を大切にしている



# 天才性を発揮している人

- 芦田愛菜さん
- 藤井聡太さん
- 大谷翔平選手

# 親の『なんで？』と子供の『なんで？』

- 親も子供もよく使う言葉に「なんで？」
- 親の『なんで？』と子供の『なんで？』を振り返ると
- まったく違う『なんで？』のように聞こえてくる
- よく耳にする両者の『なんで？』を例に挙げてみた



# 親の『何で？』

- 「なんで、言うことを聞かないの？」
- 「なんで、こんなことができないの？」
- 「なんで、早く寝ないの？」
- 「なんでダラダラやってるの？」
- 「なんで、お手伝いしないの？」
- 「なんで、ケンカするの？」
- 「なんで、わからないの？」

# 子供の『なんで？』

- 「なんで、怒っているの？」
- 「なんで、落ちたの？」
- 「なんで、ボールは丸いの？」
- 「なんで、太陽は熱いのに火事にならないの？」
- 「なんで、空は青いの？」
- 「なんで、季節があるの？」
- 「なんで、血は流れているの？」



# 親の『なんで？』と子供の『なんで？』

- これはごく限られた例ではある
- 親も子供も一度は口にしたことがあるのではないか？
- 親の『なんで？』は疑問というよりも子供に
- 「そうなってほしい」「そうしてほしい」という親の願望がある
- 子供の『なんで？』は純粹に「知りたい！」という気持ちが含まれている

「なんでこんなことができないの？」 → 「できて当たり前！」

「なんで早く寝ないの？」 → 「早く寝なさい！」

- 自分の中にすでにその答えがある『なんで？』

# 親の『なんで？』と子供の『なんで？』

- 見たい！聞きたい！知りたい！
- 好奇心のかたまり
- その『なんで？』を知ることで限りない未来と可能性が広がっている
- いろんなものやことにキラキラと変身して形を変えていく『なんで？』
- 閉ざされた『なんで？』と広がっていく『なんで？』
- 子供たちの『なんで？』には希望があふれている
- 子供の『なんで？』『なに？』を大切にしておあげること
- 特にステージ2では『なんで？』『なに？』を連発する
- ちゃんと向き合っておあげること



# 休憩・ワーク

- ここまでを振り返って感想などをシェア

# 子供への伝え方 & 褒め方

- ステージ1は『さしすせそ』
- ステージ2・3以降は『はひふへほ』
- ステージ3になっていくとフィードバックも多くなる
- フィードバック 言葉の返し方
- 自分が感じたことをどう子供に伝えていくか
- 子供への評価の仕方
- どんな褒め方やフィードバックしていますか？
- そもそもフィードバックって何？

# フィードバックの目的

評価結果を、評価された本人に返すこと

1. 能力開発・向上
2. 結果の改善
3. 意欲の向上



# フィードバックの前提

評価結果を、評価された本人に返すこと

- ①その人は素晴らしい
- ②その結果は素晴らしい

# フィードバックのやり方 その1

- ほめ言葉 & 改善提案 → 褒め言葉
- 褒める（ほめ言葉）：素晴らしい点、理由を具体的に
- 具（改善提案）：具体的な行動レベルでの改善案
- 褒める（ほめ言葉）：結論として素晴らしい～♪

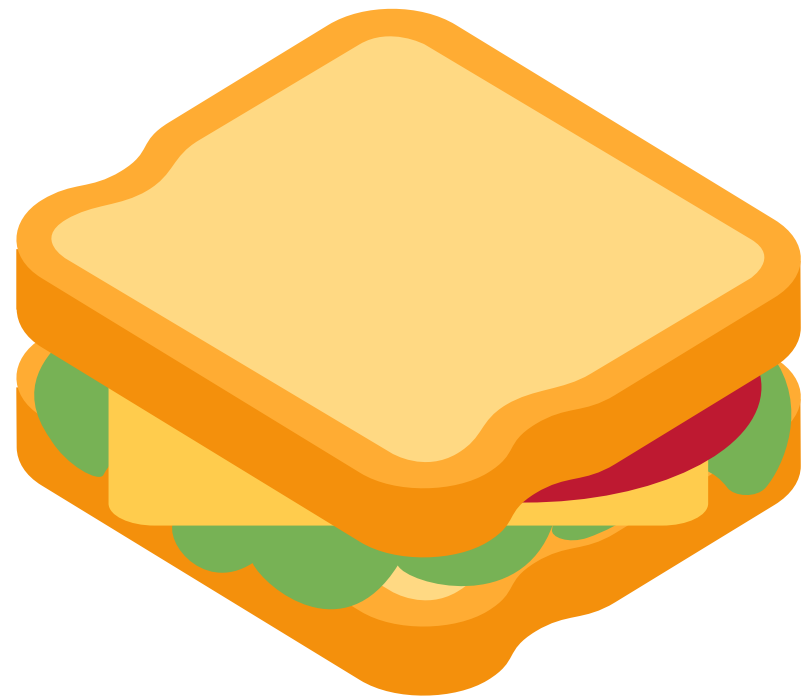
# フィードバックのやり方 その2

- 素晴らしい&もったいない→もっとすごい
- **す**：(**す**ばらしい) 素晴らしい点、理由を具体的に
- **も**：(**も**ったいないな～) と思ったのは 具体的な行動レベルでの改善案
- **も**：(**も**っと素晴らしいくなる) さらに良くなった状態を伝える



# フィードバックサンドイッチとすももで

- パン：
- 中身（具）：
- パン：
- す：素晴らしい
- も：もったいないと思ったのは
- も：もっとよくなるよ





# 新地球に生まれてくる子ども





# 新地球に生まれてくる子ども

- 2012年代以降の子供達は特殊
- レインボーチルドレンと言われている
- 霊的な感性に優れている
- 前世の記憶を覚えて生まれてくる子が多い
- これから生まれてくる子どもは『宇宙人』と思って接する
- それぐらい多種多様な性格と性質と特徴がある
- 新しい地球時代仕様でうまれてくる
- サイキックな能力が突然使えたりもする
- 大事なものは・・・



# 新地球に生まれてくる子どもたちの役割

- これから変わっていかうとする地球をサポートするため
- 私たち大人の意識の進化を促すため
- 彼、彼女10年のトレーニングが必要なことでも簡単にやっけてのけたりする
- 私たちの既成概念がガラガラと音を立てて崩れていくが・・・
- 彼・彼女らはそれを示す役割を担っている部分もある。
- 既成概念にとらわれていない子供たち
- ○○年経過しなければ認められない、1人前ではない
- 活躍してはいけいない、人の目を気にするという概念に縛られていない
- ただ純粋にそのことが好きそれを楽しんでいて、その道を極めていくだけ

# 3つの理解

- 自分理解
- 他者理解
- 相互理解



# 子供に読ませたいおすすめ本

13歳から分かる!

THE SEVEN HABITS OF HIGHLY EFFECTIVE PEOPLE

## 7つの習慣

自分を変えるレッスン

監修 「7つの習慣」編集部  
イラスト 大西洋



テレビ、SNSで話題のビジネス書『7つの習慣』に超入門書が登場!!

ベストセラー / 世界 / 4,000万部突破!

ストーリーと授業形式で学ぶ成功と幸せを手にする方法



日本図書センター


13歳から分かる!

HOW TO WIN FRIENDS AND INFLUENCE PEOPLE

## 人を動かす

カーネギー 人間関係のレッスン


監修 藤屋伸二  
イラスト 大西洋



20世紀を代表するカーネギーの自己啓発の名著に超入門書が登場!!

ベストセラー / シリーズ / 10万部突破!

ストーリーと授業形式だから手軽に読める! 分かる!



日本図書センター

ショーン・コヴィー 著  
フランクリン・コヴィー・ジャパン 編

リニューアル版

## 7つの習慣

ティーンズ

THE SEVEN HABITS OF HIGHLY EFFECTIVE TEENS

自分の人生は自分が決める!

国内10万部突破の『7つの習慣ティーンズ』が全面リニューアル

キングベアー出版